

## ◆技術交流

# マグロのヤケ防止技術交流

金城 武 光

### 1. 目的

パヤオの設置以来、夏場の高水温期に起きるマグロの「ヤケ」については、長年漁業者をなやませている。ヤケ防止については、即殺・完殺・トール等いろいろな手法を行ってきたが、いまだ解決に至っていない。

そこで、先進地である伊良部漁協で現場での技術交流を実施した。

### 2. 期日

平成13年10月3日～4日

### 3. 参加者

石川市漁協：伊波英明・玉城正勝・新垣薫・平良茂

宮古支庁：農林水産振興課 石川貴宣

引率者：水産試験場普及センター 金城武光

### 4. 技術交流地

伊良部町漁業協同組合（ニライ15号）

### 5. 講師

伊良波淳世指導漁業士

（伊良部漁協小型船主会）

### 6. ヤケ防止のポイント

#### イ 漁獲物の取り込み

- ・血抜きを防ぐため、できるだけ釣り針を飲み込ませないようにする。
- ・カギの打ち込みは、肛門の近く（出血しにくい箇所）
- ・釣り針を飲み込んでいたら、無理にはずさず釣糸を切って収容する。

#### ロ 予冷

- ・あらかじめ準備した15℃の海水倉に生きたまま、40～50分の予冷をする。

（このとき水量が多すぎないようにする）

#### ハ 本冷

- ・予冷をした魚を本冷倉へ移す。
- ・水氷の温度はできるだけ低くする。

（水氷の場合は普通2℃位である）

#### ニ 魚体処理

- ・時間があるときでよい。

（たとえば、帰途中）

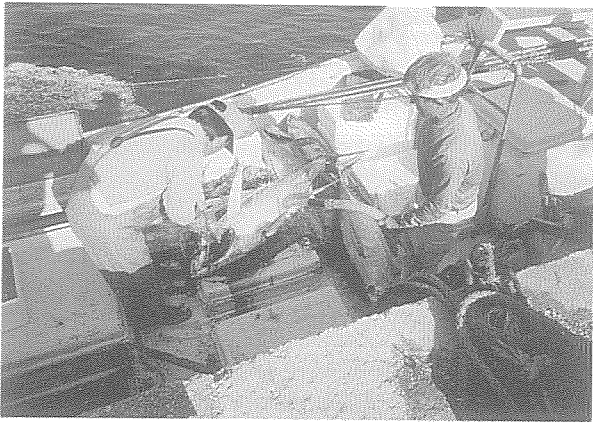
- ・魚倉は予冷用と本冷用の2カ所に分けたほうがよい。



マグロの取り込み



漁獲物・出血を防いでいる



漁獲物の処理 (入港後)



処理状況